

I 法人の概要

1 設立年月日

昭和 55 年 11 月 1 日

2 定款に定める目的（定款第 3 条）

この法人は、水産動物等の種苗生産、育成及び放流に関する事業を行い、もって栽培漁業の推進と水産資源の維持増大を図り、広島県漁業の振興に資することを目的とする。

3 定款に定める事業（定款第 4 条）

この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- ・水産動物等の種苗生産、育成及び放流
- ・栽培漁業及び水産資源の維持増大に関する技術の開発並びに知識の普及啓発
- ・その他前条の目的を達成するために必要な事業

4 所管官庁に関する事項

広島県

5 会員の状況

種 類	当期末会員数	前期末比増減	摘 要
正 会 員	107会員	1会員	県・市町24, 連合会・漁業団体83 芦田川府中漁業協同組合再入会
賛助会員	4会員	0会員	漁業団体
合 計	111会員	1会員	

6 主たる事務所

広島県竹原市高崎町字西大乘新開 185 番地の 12

7 役員に関する事項

- (1) 任期 令和元年5月31日～令和3年度通常総会開催日
 (2) 役員内訳 理事定数 16人 在職16人(理事長以外は非常勤)
 監事定数 3人 在職 3人(非常勤)

(当期末現在)

役職	氏名	現職	摘要
理事長	宮林 豊	一般社団法人広島県栽培漁業協会理事長	R1.5.31 就任
副理事長	今榮 敏彦	竹原市長	
副理事長	山本 勇二	広島県漁業協同組合連合会代表理事会長	
理事	森川 家忠	広島県議会議員	
〃	明岳 周作	江田島市長	
〃	高田 幸典	大崎上島町長	
〃	上仲 孝昌	広島県農林水産局長	
〃	大原 秀朗	広島市経済観光局農林水産部長	R1.5.31 就任
〃	松下 武雄	呉市産業部農林水産担当部長	R2.3.31 辞任
〃	岩木 則明	福山市経済環境局経済部長	R1.5.31 就任 R2.3.31 辞任
〃	辻駒 健二	広島県内水面漁業協同組合連合会代表理事会長	
〃	樋口 元武	深江漁業協同組合代表理事組合長	
〃	吉川 宏夫	下蒲刈町漁業協同組合代表理事組合長	
〃	山本 正直	吉和漁業協同組合代表理事組合長	
〃	渡邊 冬彦	横島漁業協同組合代表理事組合長	
〃	福本 悟	公益財団法人広島県漁業振興基金理事長	
監事	小坂 眞治	安芸太田町長	
〃	米田 輝隆	広島県信用漁業協同組合連合会代表理事会長	
〃	岡田 正弘	尾道市産業部長	

8 職員に関する事項

(1) 異動状況

採用 平成31年4月1日 業務推進部長(県の派遣職員) 1名

退職 令和2年1月31日 パートタイム職員 1名
 令和2年3月31日 嘱託員 1名

(2) 職員数

(単位:人)

職員数	当 期 末					計
	県派遣職員	プロハ-職員	嘱託員	パートタイム職員	エルダ-職員	
管理部	0	1	1	0	2	4
業務部	1	8	4	7	7	27
合 計	1	9	5	7	9	31

II 事業の概要

1 事業の実施概要

一般社団法人広島県栽培漁業協会の定款に定める目的を達成するため、各事業を実施した。広島県から指定を受けている広島県栽培漁業センターの指定管理者（指定期間：平成 28 年度から平成 32 年度まで）として、通常の魚介類の種苗生産事業に加えて、広島県からの委託によるガザミ、カサゴ、オニオコゼ及びキジハタを重点魚種とする種苗増産事業を実施した。また、広島県と広島市との連携による種苗生産の役割の検討や、香川県との契約に基づく種苗の等価交換を実施した。

受託生産事業では、キジハタ採卵技術開発等試験事業を尾道市ほか関係団体からの委託と公益財団法人広島県漁業振興基金の助成を受けて実施した。

種苗生産技術開発事業では、各魚種の安定的な種苗生産を図りつつ、より効率的な種苗生産を行うための技術開発等を行うとともに、他機関との技術交流や情報交換等を実施した。

放流・栽培漁業啓発事業では、中間育成や放流に関する指導啓発、体験学習や見学の受け入れなどを行い、効率的で持続性のある栽培漁業の推進に努めた。

2 魚介類種苗生産事業及び受託生産事業

(1) 海産魚介類については公益財団法人広島県漁業振興基金と、アユは広島県内水面漁業協同組合連合会とそれぞれ水産種苗配布契約を締結し、種苗生産と配布を行った。また、広島県が重点魚種とする種苗については、県から委託を受けて種苗の増産・配布を行った。

魚種	生産計画		生産実績				
	大きさ	数量(千尾)	生産期間	大きさ	数量(千尾)	出荷時期	配布先
マダイ	12mm	1,280	R1. 5. 5~7. 10	12mm	1,405	R1. 6. 19~7. 10	(公財) 広島県漁業振興基金
メバル	25mm	320.0	R2. 1. 4~3. 30	25mm	100.0	R2. 3. 30	豊竹東水産振興協議会
オニオコゼ	30mm	193.3	R1. 5. 10~10. 10	30mm	223.5	R1. 8. 9~10. 10	(公財) 広島県漁業振興基金
		150.0			150.0		広島県
	合計	343.3		合計	373.5		
ガザミ	10mm	604.0	R1. 5. 5~7. 30	10mm	604.0	R1. 6. 7~7. 30	(公財) 広島県漁業振興基金
	(3齢)	1,500.0		(3齢)	1,500.0		広島県
	合計	2,104.0		合計	2,104.0		
ヨシエビ	12mm	860.0	R1. 7. 5~9. 24	12mm	860.0	R1. 8. 9~9. 24	(公財) 広島県漁業振興基金
	25mm	185.0		25mm	222.0		
アユ	0.5g	2,300	R1. 9. 20~ R2. 2. 5	0.5g	2,040	R1. 12. 25~ R2. 2. 5	広島県内水面漁業協同組合連合会
カサゴ	25mm	100.0	R2. 1. 4~4. 16	25mm	276.5	R2. 3. 17~4. 16	(公財) 広島県漁業振興基金
		200.0			200.0		広島県
	合計	300.0		合計	476.5		
キジハタ	50mm	40.0	R1. 7. 27~10. 18	50mm	51.7	R1. 9. 25~10. 18	(公財) 広島県漁業振興基金
		26.0			26.0		広島県
	合計	66.0		合計	77.7		

(注1) 魚種別の出荷状況は別表のとおり。(注2) 生産実績数量は余剰分を含む。

(2) キジハタ採卵技術開発等試験事業については、尾道市ほか関係団体からの委託と公益財団法人広島県漁業振興基金の助成を受け、技術の開発・確立のための試験生産を実施した。

生産計画		生産実績				
大きさ	数量(千尾)	生産期間	大きさ	数量(千尾)	出荷時期	配布先
50mm	40	R1. 7. 27～10. 8	50mm	40. 5	9. 25～10. 8	魚種別出荷内訳表のとおり

3 三倍体マガキ種苗生産事業

三倍体マガキについては、広島県漁業協同組合連合会と種苗配布契約を締結し、県内のカキ養殖業者からの種苗配布要望により、コレクターについては1,439千枚、一粒カキは256千個を生産し、同連合会を通じて養殖業者に配布した。

生産計画		生産実績				
大きさ	数量	生産期間	大きさ	数量	出荷時期	配布先
コレクター 殻高3mm, 16個以上	1,230千枚	H31. 2. 20～ R1. 11. 20	コレクター 殻高3mm, 16個以上	1,439千枚	H31. 4. 3～ R1. 11. 20	広島県漁連
一粒 10mm	500千個	H31. 4. 8～ R1. 11. 10	一粒 10mm	256千個	H31. 6. 19～ R1. 11. 10	

4 種苗生産技術開発及び放流・栽培漁業啓発事業

有用魚介類の稚魚を安定的かつ効率的に生産するため、種苗生産技術の改良や新技術の導入、コストの削減などに取り組むとともに、他機関との技術交流及び情報交換等を実施した。また、栽培漁業の発展と定着を図るため、放流協力や見学受入れ等による普及啓発を行った。

(1) 三倍体マガキ増産に向けた小型水槽による生産技術改良試験

三倍体種苗の発生環境を安定化させるため、倍化处理による未分割卵や発生異常の卵を除去するためのデカンテーション（水槽移送）手法の効果を検証した。

二倍体受精卵及び倍化处理した受精卵を用い、従来から使用している20kL大型水槽の40分の1規模となる500L水槽で幼生を発生させ、2kL水槽に移槽する際、容器の底面に集まる活力の弱い幼生を除去したところ、移槽先の幼生の活力は高く、初期減耗のリスク軽減効果が認められた。

今後は、移槽作業の省力化を図るため、オーバーフロー方式など移槽方法の検討を行う。

(2) 春季における三倍体マガキ幼生の付着率向上の検討

春季（低水温期）の採苗では、コレクターの前処理に日数がかかり、採苗時に間に合わないことがあるため、前処理水温を上げることで、前処理期間を短縮して付着の効率化を図る試験を行った。

通常の春季水温10.4℃で前処理期間14日間に対し、17.4℃に加温し、前処理期間を

7日間として付着状況を比較した結果、加温区の付着数が多かった。

今後は、経費面を加味し、付着率向上に向けて、効率的な手法を検討する。

(3) LED ライトを利用したマガキ給餌用藻類の増殖促進効果の検討

種苗生産時の給餌用藻類を安定的に確保するため、LEDライトを利用した藻類培養試験を行った。

LEDライトによるキートセロス培養では、照度不足により、100Lパンライトまでの培養となっていたが、縦型に配置したLEDライトを培養槽の横から照射させることで、200Lパンライトによる培養が可能となった。

今後は、培養槽の大型化による給餌用藻類の増殖促進を図るため、LED ライトの照射方法等を検討する。

(4) 小型 FRP 水槽を利用したオニオコゼの着底魚の生産効率向上の検討

淡水浴等の作業の効率化を図るため、小型 FRP 水槽等を用いて、オニオコゼ着底魚のネット飼育を行った。

作業の効率化は図られたが、生産量増に対応するため、高密度飼育を行ったことで、生産目標は達成したものの、飼育環境の悪化に伴うへい死が確認された。

引き続き、増加する生産目標に対し、飼育作業の効率化を図る取組みや、安定生産に向けて、適正な飼育密度での生産方法等を検討する。

(5) ガザミ大型種苗 (C3) の安定生産に向けた生産手法の確立

水槽当たりの稚ガニ1齢期 (C1) の生産数量が向上したことから、C1 の収容尾数を水槽当たり 30 万尾以上とした際の生残率 60%以上を目標として、流水飼育による配合飼料給餌による中間育成を行った。

この中間育成の取組み当初、飼育密度が高まったことにより、生残率は、平均 35.3%と前年度の平均 40.6%を下回る結果が確認されたため、餌を配合飼料給餌から、冷凍コペ給餌に切替えたところ、生残率は平均 49.0%と改善された。

引き続き、C1 の収容尾数を水槽当たり 30 万尾以上とした際の生残率 60%以上を目標として、飼育方法等を検討する。

(6) アユ新規系統 (灰塚宮崎系、宮崎交配系) の放流効果の検証

平成 30 年度に当センターで種苗生産している、冷水病菌に対して高い耐性があると考えられる灰塚宮崎系 (雄親：宮崎交配系×雌親：灰塚ダム天然遡上群) 及び宮崎交配系 (雄親：宮崎海産群×雌親：宮崎交配系) の放流後の漁獲特性を確認するため、広島県立水産海洋技術センター (水技C) に委託して調査した。

友釣り、投網及びほうろく網による再捕調査の結果、宮崎交配系、灰塚宮崎系の両系

統とも遜色なく再捕され、放流効果のある種苗と考えられた。

(7) アユ受精卵の粘着性除去による卵管理手法の技術改良及び運用拡大

アユ受精卵の孵化率の向上及び卵管理の省力化を図るため、粘着性を除去した受精卵をハッチングジャーに収容して孵化させる手法を検討した。

ハッチングジャーに収容した受精卵は、順調に孵化するとともに、孵化までの卵管理の省力化が図られたことから、今後は、ハッチングジャーによる卵管理手法を導入する。

(8) 水産教室への職員派遣による栽培漁業普及、一般の見学者や、学生の職場体験学習の受け入れ及びホームページでの情報提供

学校関係者、会員、一般の見学者に栽培漁業センターを案内して、種苗生産・放流・資源管理についての説明・学習を行い、栽培漁業の普及啓発に努めた。

また、市内の中学校からの依頼による職場体験学習の生徒を受け入れ、種苗生産の実地研修と栽培漁業に関する学習を行った。

見学者数	一般	学校関係	漁業関係	合計
	19名	320名	23名	362名
職場体験学習	竹原市立竹原中学校 2名 R1. 6. 10～6. 14 (5日間)			

5 センター管理事業

広島県との広島県栽培漁業センター施設の管理に関する基本協定(平成 28 年 3 月 24 日締結)及び平成 31 年度広島県栽培漁業センターの管理に関する年度別協定(平成 31 年 3 月 28 日締結)により、施設の維持修繕と機械設備の整備点検を行い、センター機能の維持管理に努めた。

6 理事会、総会、監査会及び登記に関する事項

(1) 理事会

項 目	議 案
第1回通常理事会 R1. 5. 16開催 水産会館	<ul style="list-style-type: none"> ・議決事項 第1号議案 令和元年度通常総会提出議案に関する件 第2号議案 令和元年度通常総会開催日程等に関する件 第3号議案 正会員の加入に関する件
第1回臨時理事会 R1. 5. 31開催 広島商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・議決事項 第1号議案 理事長（代表理事）、副理事長2名の選定に関する件
第2回臨時理事会 R1. 11. 25開催 水産会館	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 第1号 令和元年度前期種苗生産状況について 第2号 令和元年度前期収支状況について
第2回通常理事会 R2. 3. 26開催 水産会館	<ul style="list-style-type: none"> ・議決事項 第1号議案 令和2年度事業計画書及び収支予算書の決定に関する件 第2号議案 特定資産の一部取崩に関する件 第3号議案 令和2年度余剰種苗等頒布に関する件 第4号議案 就業規程の一部改正に関する件

(2) 総会

項 目	事 項
通常総会 R1. 5. 31開催 広島商工会議所	<ol style="list-style-type: none"> 1 会員数 111会員（正会員107会員 賛助会員4会員） 2 出席正会員数 99会員（本人出席42会員，委任状5会員，表決書52会員） 3 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 第1号 令和元年度事業計画書・収支予算書の議決報告に関する件 4 議決事項 <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 平成30年度事業報告書・貸借対照表・正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書の承認に関する件 第2号議案 令和元年度会費の額の決定とその徴収方法に関する件 第3号議案 令和元年度役員報酬に関する件 第4号議案 役員改選に関する件（理事16名，監事3名）

(3) 監査会

開催年月日	出席監事	監査事項
H31. 4. 23	小坂眞治・岡田正弘 米田輝隆	平成 30 年度事業報告書，財務諸表，公益目的実施計画実績報告書

(4) 登記に関する事項

登記年月日	登記事項	登記内容
R1. 6. 14	役員変更登記	役員改選に伴う理事の変更登記

7 事業報告書の附属明細書

令和元年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。